|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **目的** 1）MTDLPの使い方を理解する。  　-1：個別対応力を高める  　-2：マネジメント力を高める  　-3：継続的にMTDLPを実践する  2）自己の介入を客観的に振り返る。  3）生涯教育事例報告の参考とする。 **ファシリテーター要件** 1）MTDLP指導者  2）暫定ファシリテーター要件を満たす者  **※ファシリテーターの役割**  1）焦点を当てた生活行為が、対象者にどのような意味を持つか明確にする。  2）発表者が改善に向けた行動を起こせるように誘導する。  3）事例報告の骨格を明確にし、シートの記載方法を具体的に提案する。  4）タイムスケジュールを管理する。  5）対象者の課題から、組織・地域の課題まで抽出できるように促す。 | |  | | --- | | （案）MTDLP事例発表進め方MTDLP実践者研修修了要件事例検討会| 旧スッテプ3　　2017.12.01. |  **今回のタイムスケジュール**（2017.00.00.）**• 本日のタイムスケジュール説明****•事例作成展開（案）についての説明** **12：30～12：50**  自己紹介・タイムスケジュールの確認・事例作成展開（案）についての説明 **12：50～13：35**1事例目**13：35～14：20**2事例目**14：20～14：30 　　　休憩****14：30～15：15**3事例目**15：15～16：00** 　　　4事例目**16：00～** 　　　振り返りとまとめ**発表者事前提出資料の確認** 1）生活行為向上マネジメントシート　　（用紙指定有）  2）事例の概略や経過をまとめた抄録 （用紙指定無）  ①事例のテーマ 　　　　　　　②基本情報（事例紹介）  ③作業療法評価 　　　　　　④作業療法計画  ⑤介入経過 　　　　　　　　　⑥結果 　　　　　　　⑦考察  3）事例作成展開案（2017.12.01.）（用紙指定有）  　　　「事例作成展開案」（以下、シート）は、広島県作業療法士会独自の取り組みです。　事例検討会では、発表者に事前に作成して頂いたシートを他参加者とファシリテーターと一緒に確認し、日本作業療法士協会の事例報告の合格を目指します。 |